



くまもとで「はたらく・はたらき続けるため」の情報紙

# しごといく Voice

～ともに歩んだ声から、今とこれからを考える～



## しごといくVoiceについて

「しごといく」で紡いできた一つひとつの事例は、あの時点で終わったわけではありません。今回の「しごといくVoice」では、過去に登場した方々の“今”に再び耳を傾けることで、続いている物語のその後をたどります。声の中にある思いを、次の支援へとつなげていきたい。そんな願いを込めています。

### 事例企業

社会福祉法人 城山福祉会 幼保連携型認定こども園 城山保育園

## 「掃除のプロになりたい」 チーム保育の一員として、 ともに育つ7年半

熊本市西区の幼保連携型認定こども園 城山保育園では、「共生」と「貢献」の理念のもと、子どもたちが多様な大人とのかかわりを通して学び合う環境づくりを大切にしています。

その園で、7年半にわたって環境整備や給食配膳を担当し、子どもたちや職員から親しまれている職員がいます。特別支援学校高等部を卒業後、障がい者雇用として入職したAさんです。

「しごといく」Vol.8（令和2年発行）では、就職から1年半のAさん取材しました。それから6年が経ち、再び園を訪れると、当時と変わらない明るい笑顔で迎えてくださいました。けれど、その仕事ぶりや職場での存在感は、当時よりもずっと頼もしく、のびやかに成長されていました。

### 1. 「はじめの一步」入職のきっかけと、働き始めた頃

Aさんは、「保育園で働きたい」という夢を抱きながら育ちました。高校3年生のときに城山保育園で現場実習を経験し、そのときに「ここで働きたい」という思いが一層強くなったそうです。

園長先生も当時を振り返り、「特性に応じた指導ができるか不安はありましたが、実習中の明るさや、決まった仕事に真面目に取り組む姿に可能性を感じました」と語られます。学校やジョブコーチと連携しながら、「丁寧に説明すればしっかり理解し、行動できる」と感じ、採用へと進みました。

就職が決まったときのことは、ご家族の記憶にも深く残っています。面接の場で園長先生が「この保育園は好きかい？」と尋ねると、

Aさんは迷いなく「はい、行きたいです！」と明るく答えたそうです。その一言が場の空気をやわらかくし、「この園なら安心して働ける」と家族は心から感じたと言います。

### 2. 現在の仕事——「隅々まできれいに」がこだわり

Aさんの主な仕事は、園内の清掃と給食配膳です。「掃除が好きです。隅々まできれいにしたいと思っています」と話すAさん。掃除の時間になると黙々と集中して仕事に取り組み、決められた順番で丁寧に作業をすすめていきます。給食配膳では「子どもたちに温かいごはんを届けること」を大切にしており、子どもたちから「ありがとう」と声をかけられたときは、とても嬉しいそうです。職員からも「助かっています」と感謝されることが多く、そうした言葉がAさんの働く励みにつながっています。

### 3. 7年半の積み重ねで育まれたもの

Aさんについて園の職員にお尋ねすると、まず挙がるのが「責任感が育ってきた」という言葉です。

掃除の仕事を通して、

- ・時間管理が少しずつできるようになったこと
- ・道具の定位置を覚えられたこと
- ・周囲の人に感謝の気持ちを伝えられるようになったこと
- ・新しい仕事に前向きに挑戦しようとする姿勢が育ったこと

こうした日々の積み重ねが、Aさんの自信につながっているといいます。

一方で、集中力の波や気分によって仕事の質にばらつきが出ること、興味がある仕事に気を取られてしまうことなど、課題が完全に解決したわけではありません。注意されたときに気

持ちの切り替えが難しい場面もあります。

しかし、園長先生はこう話されます。「課題があること自体は問題ではありません。Aさんがつまずきやすいところを理解し、周りが工夫しながら一緒に働くことで、園全体の関わり方が変わってきました。」前回取材から6年。そこには、スキルの向上だけでは語れない「関係性の成熟」が確かにありました。

## 4. 保育園が続けてきた「ともに働くための工夫」

Aさんが安心して働けるように、園ではさまざまな工夫を続けています。

- ・業務内容を「見てわかる」形にした手順書
  - ・清掃道具の定位置管理・色分け
  - ・洗剤は「スプーン1杯」「ポンプ1回」など量を明確化
  - ・タイマーを使った時間管理
  - ・「やり直したけれどできた」など、前向きな評価の伝え方
  - ・担当職員による定期的なフォロー
  - ・職員間での情報共有
  - ・得意分野を生かした子どもとのかかわり配置
- こうした取り組みはAさんの働きやすさにつながるだけでなく、園の職員にとっても「誰に対しても丁寧に伝えること」の大切さを考えるきっかけになりました。

ある職員は「Aさんのおかげで、「見てわかる仕組み」や「丁寧な伝え方」を意識するようになり、自分たちの働き方も変わりました」と話していました。

## 5. Aさんが語る「これから」

Aさんの夢は「掃除のプロになること」です。「後輩の良いお手本になりたい」とも語ってくれました。

仕事で大切にしている言葉は、「我慢・できる・頑張る・ゆっくり丁寧に」。毎日の振り返り表に丸がたくさんついていると嬉しくなり、子どもや職員からの「ありがとう」が、次の頑張りへとつながっています。

プライベートでは、好きな先生の写真がスマートフォンの画面に並びます。「会いたいです」と笑う姿から、Aさんが人とのつながりを大切にしている様子がよく伝わってきました。

## 6. 障がい者雇用を考える企業へ

園長先生は次のように話されます。

「障がいがあるから特別扱いするのではなく、人として尊重し、理解しようとする姿勢が大切です。課題を共有し、できる工夫を一つひとつ積み重ねれば、必ず良い関係が生まれます。」

Aさんの7年半は、スキルの成長だけではなく、「お互いに育ち合う関係」が職場をどれほど豊かにするのかを教えてください。

障がい者雇用は制度として存在するだけではありません。働く人も、支える人も、そして子どもたちも「共に生きる」ことの価値を感じられる温かい営みであることを、Aさんの姿が静かに教えてくれています。

時間	場所	主な仕事内容
9:30	スタッフルーム	・出勤簿をつける
	01保育室	・おしぼりの準備 ・洗濯物を干す(雑巾・椅子拭き・台拭き)
10:00	2階	テーブルクロスを畳む
10:15	玄関	玄関の内側と外側を外用のほうきで掃く
	職員の靴箱	職員用玄関の内側外側を外用のほうきで履く
	階段(1階~3階)	・青いタオルで拭き掃除をする

お互いの取り組み、役割が一目でわかる作業ツール



インタビュー時の様子



トイレ清掃の様子

Aさんが働いている様子の動画はこちらの二次元コードから

## Vol.8

トピックス：職場定着に関わる支援機関

事例企業

- ①社会福祉法人 城山福祉会 幼保連携型認定こども園 城山保育園
- ②わかば食品株式会社 熊本工場
- ③株式会社 SYSKEN
- ④大型総合園芸店 nursery`s



## Vol.9

トピックス：就労定着支援事業の紹介

事例企業

- ①株式会社 JTB コールセンター販売部
- ②社会福祉法人紫水会 黒髪幼愛園
- ③株式会社ボンド
- ④竜之介動物病院



## Vol.10

トピックス：障害者の法定雇用率引上げと支援策の強化について  
「どうして辞めちゃうの？」

事例企業

- ①ヤマト運輸株式会社 熊本主管支店
- ②社会福祉法人熊本菊寿会 特別養護老人ホームさわらび
- ③株式会社南九州イエローハット



## Vol.11

トピックス：障がい者雇用をみんなで学び、語り合い、つながる  
フォーラム「ごちゃまぜ☆フォーラム」

事例企業

- ①博陽工業株式会社 本社・熊本工場
- ②社会福祉法人慈愛園 熊本ライトハウス
- ③医療法人清和会 平成とうや病院
- ④社会医療法人令和会 熊本整形外科病院

**Vol.11では就職までの支援の流れが記載されています➡**



これまで就労部会で作成した冊子は熊本市のホームページに掲載されています。熊本市ホームページアドレス <https://www.city.kumamoto.jp/> トップページから 健康・医療・福祉 ≫ 福祉 ≫ 障がい者（児）福祉 ≫ 障がい者（児）の相談 ≫ 障がい者の就労に関する相談・支援PDFデータをダウンロードしてご利用いただけます。

※この冊子では「障害」と「障がい」の2つの表記があります。  
定義された固有名称等については「障害」と表記し、そのほかは「障がい」と表記しています。

発行日／令和8年3月

編集／熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会

作成／熊本市

くもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」  
(熊本市障がい者就労・生活支援センター)